

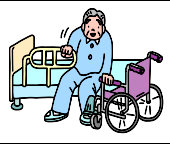





医療者用 **地域連携診療計画書(大腿骨近位部骨折)** 患者氏名 @PATIENTNAME 様 説明日 平成 年 月 日

病名 右 左 **大腿骨骨折** (頸部 転子部 転子下) 手術日 平成 年 月 日
 転院先 【 】

適応基準～ 大腿骨近位部骨折(頸部、転子部、転子下)で、手術を行い連携パスを共有する医療機関と連携して治療を継続する場合
 転院基準と時期の目安～ 車椅子に乗車できる手術から14日前後
 退院基準と時期の目安～ 受傷前の歩行状態に近くなり、在宅・施設の生活に適應できる手術から60日以内

月 日	1日目～手術前日	手術当日	手術翌日	OP後2日目	OP後3日目	OP後7日目	1～3週	3週目	4週目	6週目	6～8週
経過(日または週単位) 日時(手術日・退院日など)	入院日						転院	入院			退院日
達成目標	OP前の不安が軽減し身体・精神的準備が整う。	OP後の安静・合併症の早期発見	リハビリ計画の理解	リハビリへの意欲が持てる	ADLの拡大・転倒防止						受傷前の状態への復帰
患者状態		循環動態・呼吸状態安定 創痛が管理できている 創に問題なく持続出血がない	循環動態・呼吸状態安定 創痛自制的 創に問題なく持続出血がない	創に発赤や滲出液がない	感染徴候がない						
合併症			腓骨神経麻痺がない 褥創がない 深部静脈血栓症がない	術後創感染がない							
治療・薬剤(点滴・内服)	持参薬チェック	抗生剤点滴	抗生剤点滴・常用薬内服					持参薬チェック			常用薬内服あれば
検査	採血・心電図・肺機能・XP胸部・股関節・Dダイマー	OP後XP	採血			XP					検査必要時かかりつけ医受診
処置	牽引・OP前日の排便調整	弾性ストッキング装着		創処置	尿道留置カテーテル抜去		抜糸				
安静度・リハビリ	ベッド上	ベッド上	ギャッジアップ60度	ギャッジアップ90度	端座位・車イス移動	歩行訓練	転院時評価				退院時評価
食事	常食(必要時治療食)	OP前絶飲食・OP後再開	OP後再開	常食(必要時治療食)							体調に合わせた食事 可能なかぎり入浴
清潔	全身清拭	全身清拭	全身清拭	全身清拭	全身清拭		シャワー浴	全身清拭・シャワー浴			可能なかぎり入浴
排泄	ベッド上(全介助)・Baカテーテル挿入	ベッド上	ベッド上		Baカテーテル抜去・PTイレ移動			必要時介助			移動能力にあった排泄
患者・家族への説明	入院・手術・麻酔医の説明	OP後説明				転院相談		入院時説明			退院時説明・指導
退院時情報	《転院時患者状態》 ①独歩 ②杖歩行 ③つたい歩き ④車イス ⑤寝たきり 《家族背景》 《最終ゴールの希望》 認知症(有・無) << 介護保険申請: 有・無 認定レベル: 平成 年 月 日 病院名: 唐津赤十字病院					《特記事項》		《退院時患者状態》 ①独歩 ②杖歩行 ③つたい歩き ④車イス ⑤寝たきり 《特記事項》 《転院先》 自宅・施設・病院・死亡・その他(名称:) 病院名: 平成 年 月 日 主治医名:			

リハビリの流れ	ステップ1 (ベッド上臥床レベル)	ステップ2 (ベッド上動作レベル)	ステップ3 (離床・車椅子レベル)	ステップ4 (歩行開始レベル)	ステップ5 (自立歩行レベル)	ステップ6 (応用歩行レベル)
						
	リハビリテーションでは、患者様の状態に合わせ、上記のステップを踏んで、移動・日常生活動作・社会活動などが可能になるよう評価・訓練・介助指導などを随時行っていきます。					

患者様用 地域連携診療計画書(大腿骨近位部骨折連携クリニカルパス)

患者氏名 @PATIENTNAME 様 病名 右 左 大腿骨骨折 (頸部 転子部 転子下)
 再説明日 平成 年 月 日 主治医 手術日 平成 年 月 日 (骨接合 人工骨頭)

	手術実施病院			転院先医療機関		退院後
	医療機関名 : 唐津赤十字病院			医療機関名 :		
	手術後翌週まで	術後翌週	転院まで	入院時	退院まで	
達成目標	熱が出ず、心臓や肺の働きが安定している 手術のキズの痛みが次第に軽くなり、キズが化膿しない 背中や腰に床ずれができない、足の指がよく動く 脱臼しない(人工骨頭の場合)	熱が出ず、心臓や肺の働きが安定している キズが化膿しない こぼさない 脱臼しない(人工骨頭の方)	骨折前に歩いていたら、少し立てる程度が転院時の目標です 骨折前にほとんど歩いていなかった方は、車椅子に乗れるのが転院時の目標です	転落や転倒をしない 骨折前の状態へほぼ回復する (立ったり歩いたりする能力のことです) 脱臼しない(人工骨頭の場合)	退院は手術から2ヶ月以内を目標にしましょう	痛みがほとんどない 転落や転倒をしない
治療処置	必要に応じて、酸素投与、点滴、ガーゼ交換を行います	ガーゼ交換や抜糸などを適宜行います			必要に応じて、持病や併発症の治療や処置を行います。	必要に応じて、かかりつけの先生に相談しましょう
検査	採血をします	レントゲンを毎週とります 		レントゲンや採血を適宜実施します。	必要に応じてレントゲンや採血があります。	必要に応じて、かかりつけの先生の所で検査を受けましょう
薬剤	手術後は抗生物質の点滴をします 持病のお薬は継続します	持病のお薬は継続します 		持病のお薬の確認をします	持病のお薬は継続します	お薬が必要な場合は、かかりつけの先生に処方してもらいましょう
生活動作リハビリ	ベッドを徐々に起こします ベッドの端に腰かけます 可能なら車椅子にのります 	主治医から許可が出たら、立ったり歩く練習をします 		できるだけ、骨折前の状態に近づくように、リハビリをします。 		転ばないように気を付けましょう。 無理にならない範囲で運動を心がけましょう
清潔	体を拭いたり、シャワー浴など適宜行って、体の清潔を保ちます。			体を拭いたり、シャワー浴など適宜行って、体の清潔を保ちます。		体を拭いたり、入浴するなどして、体の清潔を保ちましょう
排泄	ベッド上です	車椅子に乗れるようになれば、トイレに行きます 		トイレに行けるようになれば、トイレに行きます		歩ける程度に応じて、ポータブルトイレなどの使用も考えましょう
食事	体格や病状に応じた食事ができます 			リハビリのためにも栄養をよくとりましょう		バランスの良い適度な量の食事を心がけましょう
説明その他	手術後や転院のときに、適宜ご説明いたします。不明の点やお困りの点は遠慮なく主治医または看護師へおたずね下さい。 			入院中は適宜、説明をいたします。疑問の点等は遠慮なくおたずね下さい。		かかりつけ医等に適宜おたずね下さい